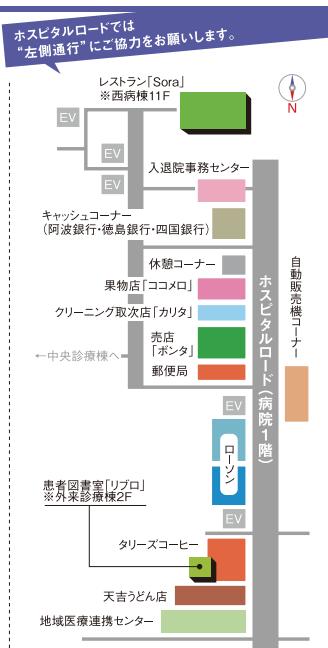


- 各相談室・検査の連絡先
- 緩和ケア室（相談受付／月～金曜13:00～15:00）
Tel／088-633-7457(Fax兼用)
 - PET/CT検査（受付／月～金曜8:30～17:00）
Tel／088-633-9106 Fax／0120-335-812
 - セカンドオピニオン外来（予約受付／月～金曜13:00～16:00）
Tel／088-633-9654 Fax／088-633-9978 ※完全予約制
 - 女性外来（予約受付／月～金曜13:00～16:00）
Tel／088-633-9177(Fax兼用) ※完全予約制
 - 遺伝相談室（予約受付／月～金曜13:00～16:00）
Tel／088-633-9218 Fax／088-633-9219 ※完全予約制
 - 臨床試験管理センター（受付／月～金曜9:00～17:00）
Tel／088-633-9294 Fax／088-633-9295
 - 補完代替療法室・おぐり相談室（予約受付／月～金曜9:00～12:00）
Tel／088-633-7960 Fax／088-633-7961 ※完全予約制
 - アンチエイジング医療センター（予約受付／月～金曜9:00～16:00）
Tel／088-633-9106 Fax／0120-335-9797 ※完全予約制
 - 美容センター（予約受付／月～金曜14:00～16:00）
Tel／088-633-7047(初診) 088-633-7903(再診施術・案内) ※完全予約制
 - 地域医療連携センター【医療相談窓口】（相談受付／月～金曜8:30～17:00）
Tel／088-633-9107・088-633-9056 Fax／088-633-9107

最近、「幸福」が学問として研究されるようになったと聞きました。幸福とは何か、どうすれば幸福を感じることができるのか、いろいろな側面から研究が進んでいるようです。「吾唯足知(われ ただ たるを しる)」という言葉もありますが、物事、見方を変えれば感じ方も変わります。「感謝」もまた幸福への近道かもしれません。春はあちこちに「しあわせ」が見つかる優しい季節です。
(診療支援部 I)

発行者 病院長 安井 夏生
編集部会長 楠河 宏章
広報委員会 松尾 敏志 香美 桂二 武田 憲昭 柿内 聰司 柏原 稔也
委員 松崎 健司 篠原 千尋 溝口 徹也 久米 博子 井上 千尋
熊谷 圭司 玉田 昌宏 木虎 章 川野 茂 安崎 郁子
仲野 博仁 島井 健一郎
事務担当 総務課広報・企画部門 Tel.088-633-7697



 **徳島大学病院**
Tokushima University Hospital

<http://www.tokushima-hosp.jp/>
■ご意見・ご要望は下記までお寄せ下さい。
bsoumuss1@tokushima-u.ac.jp

カラダもココロも健康に

いきいきらいふ

no.43
2014 SPRING

ペインクリニック【痛み外来】

■CLOSE UP

輸血・細胞治療部

■徳大病院ニュース

徳島県歯科医師会とがん患者歯科医療連携合意書を締結しました

・「周産期医療環境整備事業報告会」を開催しました

・「徳島大学病院フォーラム2014春」を開催しました

・「平成25年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議」を開催しました

・「愛と知と技のバランスのとれた看護職養成 平成25年度第2回報告会」を開催しました

・「下肢静脈瘤専門外来」を開設しました

・市民公開講座等のご案内

・治験に参加しませんか?

・禁煙川柳

■tokudai-staff information

新任科長のご挨拶

■ボランティア募集

■地域連携の部屋

地域連携病院⑪阿南共栄病院

■食事のヒント

子どもが喜ぶ、卵アレルギー用除去食

 徳島大学病院
Tokushima University Hospital



01



ペインクリニック

痛み外来

ペインクリニック (痛み外来)とは

ペインクリニックでは、痛み止めでは治らない腰や脚の痛み、長引く首・肩の痛み、失った腕や脚の先端の痛み、がんから生じる痛みなど、痛みを主な症状とするありとあらゆる病気を対象としています。そして、その一つ一つの症状に応じて、神経ブロック療法、薬物療法、理学療法、心理療法などの治療が行われています。特に神経ブロック療法は、神経などに局所麻酔を注射、もしくは加熱、冷却、加圧することにより、痛みの伝達をブロックする治療法であり、薬物療法と手術療法の中間に位置する第三の治療法として、多くの痛みの治療に用いられています。



痛みの種類について

さまざまな種類の痛みがあり、次のように分類して治療を行っています。

■侵害受容性疼痛

けがや火傷、骨折をした時などに感じる痛みです。炎症や刺激から生じる痛みで、例えばけんしょ炎や関節リウマチなどがあります。

■神経障害性疼痛

※特にペインクリニックが有効とされる痛みの種類

見た目には傷や炎症はありませんが、けがや病気などで神経が傷ついたことにより生じる痛みで、主に次のような病気があります。

- ① 带状疱疹後神経痛(たいじょうほううしんごんけいつう)…幼初期にかかった水ぼうそうが治った後も神経に潜り、免疫力が低下したときに現れる。
- ② 糖尿病性神経障害(とうようびょうせいしんけいしょうがい)による痛み、しびれ…糖尿病により神経が傷つき、手足にしびれや痛みが現れる。
- ③ 坐骨神経痛(ざこつしんけいつう)…高齢者に多く、お尻から足の後ろ側にかけて痛みやしびれ、麻痺などが現れる。

■混合性疼痛

侵害受容性疼痛と神経障害性疼痛の両方を併せもつ痛みで、慢性痛ともいわれています。

患者さんの痛みと向き合い、最善の治療を追求する痛みの外来

当院の麻酔科の業務は大きく二つに分けることができます。一つは、手術や検査時の麻酔管理。もう一つは、痛みを有する患者さんに対して、診断・治療を行うペインクリニック(痛み外来)です。今号では、当院のペインクリニックについてご紹介します。



痛みの悪循環

短期間で消失するはずの急性の痛みであっても、適切な治療をせずに放置しておくと、「痛みの悪循環」に陥ってしまうことがあります。元の痛みに対して、さらに新たな痛みが加わる状況を作り出す悪循環におちいると、症状は慢性化してしまいます。痛みを我慢せず、早期に適切な治療を行うことが大切です。



— 患者の皆様へ —

当院ではあらゆる種類の痛みに対し、神経ブロックなどを中心に様々な治療方法を組み合わせ、痛みの除去や緩和を行っています。また、慢性痛に対しては、専門的な薬物療法に加えて、光線療法や理学療法を用いて緩和するとともに、カウンセリングを行い、患者さんの痛みに対する知識と理解を深めることで日常生活への復帰を支援します。患者さんの痛みと正面から向き合い、患者さんと一緒に最善の治療法を探します。どんな些細なことでもかまいません。お気軽にご相談ください。



■説明は
徳島大学病院 麻酔科
川人伸次(かわひとしんじ)病棟医長
■問い合わせ
Tel. 088-633-7179(麻酔科外来)

02

03

CLOSE UP!



輸血・細胞治療部

24時間体制で安全な輸血療法を行う!

当院の輸血・細胞治療部は、主に血液製剤の一元管理、輸血前検査、移植関連検査など、安全で適正な輸血療法を推進するため、24時間体制で診療に携わっています。今号では、輸血・細胞治療部の業務の中で特に輸血に関する業務についてご紹介します。

●患者さんに合った(適合した)血液を選ぶ

輸血とは、病気による貧血やケガ・手術などによる出血のために、不足した血液成分を補つための補充療法です。近年、輸血用血液製剤は極めて安全なものになっていますが、他人の血液を体内に入れるることは一定のリスクを伴います。異なる血液型や、抗体がある人に輸血を行うと、輸血の効果が得られないばかりか、重大な副作用を起こす危険があります。そのため、輸血を行う前には必ず、患者さんに合った(適合した)血液を選ぶため

の検査を行います。

- (1) ABO-Rh式血液型検査…患者さんの血液型を確定するための検査。
- (2) 不規則抗体検査…ABO式血液型の規則抗体以外の赤血球抗体を調べる検査。
- (3) 交差適合試験…輸血による副作用を防止するため、患者さんの血液と輸血する血液とを混ぜ合わせ、確認する検査。

●最新の機器を用いた血液製剤の一元管理

輸血用血液製剤は、血液成分の種類によって保存温度や有効期間が異なる(赤血球2~6°C、新鮮凍結血漿-20°C以下、血小板20~24°C)

ため、温度集中監視装置付の専用保冷庫に、それぞれに適した温度による管理を24時間行っています。

04



■説明は、
徳島大学病院



●輸血・細胞治療部受付 Tel. 088-633-7209

●輸血過誤の防止対策

患者さんから採血した検体や血液製剤は全てバーコードを利用して最新のコンピューターシステムに登録し、一元的に管理しています。

血液の取り違え防止	・患者血液をバーコード貼付採血管に採取
血液型判定／入力ミス防止	・検査は全てバーコードで一元的に管理　・精度の高いカラム凝集法で検査
出庫時の血液パックの取り違え防止	・血液パックの色(A型:黄色、B型:白色、O型:青色、AB型:赤色)とカラー出庫伝票の色を揃え、出庫時は2名で読み合わせを行う
血液パックの照合ミス防止	・ナースステーションにて2名でダブルチェック
病棟・手術室での患者・製剤の取り違え防止	・患者さんのリストバンドIDと血液製剤番号をコンピュータ照合し、輸血

（輸血検査以外の業務）本院には2名の、日本輸血・細胞治療学会に認定された輸血検査技師がいます。直接輸血に係る検査以外にも、造血幹細胞移植や臓器移植に必要な組織適合性検査(HLA検査)、自己血や造血幹細胞の保管管理など、高度な医療にも積極的に取り組んでいます。



「トクシンに載っとるでよ！」
地域のニュースが人の間を結びます

郷土と共に歩む
徳島新聞社

ご購読のお申し込みは ☎ 0120-46-1940
www.topics.or.jp

徳大病院ニュース

徳島大学病院の最新情報をお届けします。

徳島県歯科医師会と がん患者歯科医療連携合意書を 締結しました

本院と徳島県歯科医師会は、がん患者の口腔ケアを推進していく連携について合意し、平成25年12月13日に調印式を行いました。これは近年、口腔ケアや歯科治療が、がん治療の重要な支持療法として重要視されるようになったことに伴い、がん患者が歯科医療や口腔ケアを継続的に受けられるための体制を整えることを目的としたもので、今後、両者は退院予定のがん患者にその地域のかかづけ歯科医を紹介したり、「がん患者歯科医療連携講習」を共同開催したりするなどして、地域連携体制を構築していきます。調印式は、徳島県歯科医師会館において行われ、本院の安井病院長と徳島県歯科医師会の和田会長が、文書を交わしました。



「徳島大学病院フォーラム2014春」を開催しました

平成26年2月2日、市民公開講座「徳島大学病院フォーラム2014春」を開催しました。本院では、大学病院が果たす地域医療への貢献の一環として、地域の皆さんに最新の医療を知っていただくため、春と秋の年2回、「徳島大学病院フォーラム」と題した市民公開講座を開催しています。今回は「鏡視下手術～身体に優しい外科手術～」と「がん～最新の診断から治療まで～」と題した2部構成で実施しました。第1部では内視鏡を用い

「周産期医療環境整備事業報告会」を開催しました

平成26年1月10日、ホテルクレメント徳島で周産期医療環境整備事業報告会を開催しました。医学生、研修医対象のセミナー、国内外の指導者を招いた研修会、ICTを駆使した情報共有システム開発、地域医療支援、夜間保育や育児支援、医師負担軽減など周産期医療を担う医師育成を目的に文科省人材養成環境整備事業の一環として、平成21年度から5年間、産婦人科ではさまざまな企画、事業を行いました。文科省担当官、安井病院長をはじめ多くの方にご出席いただき、苟原科長が事業の趣旨を紹介、前田医師が分娩セミオーブンシステム、共通ノートによる妊婦健診の標準化、川西師長が院内助産とエキスパート助産師養成、吉田医師から女性医師支援、特に夜間、病児保育の拡充の重要性、そして西村医師から産婦人科的魅力づくりについて報告がありました。特別講演として日本医科大学講師の澤倫太郎先生から周産期医療変質のきっかけとなった福島県立大野病院事件に医師側特別弁護人として深く関わった経験と、今後の医療の健全な発展に貴重な提言をいただきました。



た呼吸器外科や整形外科の手術や、手術支援ロボット・ダヴィンチを用いた泌尿器科の手術が紹介され、第2部では日本人の死亡原因の第1位を占める「がん」の予防と治療に關し、消化器内科、消化器・移植外科、食道乳腺甲状腺外科、遺伝相談室、放射線治療科の第一線で働く専門医が講演を行いました。当日ご参加くださった600人近く参加の方々は、本院医師たちの語る最新医療の話に熱心に耳を傾けておられました。



「平成25年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議」を開催しました

平成26年2月12日(水)～14日(金)の3日間にわたり、徳島市のホテルクレメント徳島を会場として、平成25年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議を開催しました。700名を超える参加者、60を超える後援・協賛団体の方々が来されました。本会議では、国立大学病院のみならず、公立・私立大学病院ならびに一般病院等の病院情報マネジメントに携わるあらゆる職種が一同に集まりました。そして、地域や病院における医療の質・安全性の保証・向上、病院経営・業務の効率化・円滑化等について、臨床現場の実情に基づいて具体的な議論を交わし、医療と情報技術の共生・共栄、そして共創を目指して活発な議論と意見交換が行われました。



「愛と知と技のバランスのとれた看護職養成 平成25年度第2回報告会」を開催しました

平成26年3月8日(土)、徳島大学大塚講堂において、「愛と知と技のバランスのとれた看護職養成」平成25年度第2回報告会を開催し、他施設の方を含め198名の参加がありました。最初に、本院木田看護部長より本事業の概要の説明があり、続いて各担当者より実践及び成果について報告がありました。次に特別講演に移り、香川学長より「看護職のためのキャリア開発支援への期待」というテーマで人事育成に必要なキーワードを感じながら、ユーモアも含めて分かりやすく講演をしていただきました。その後、赤池キャリア形成支援センター長より「医師の人材育成について」というテーマで講演をしていただきました。最後に、文部科学省の市村専門官より「もう一歩踏み込んだ人事交流を期待する」など、この事業の取り組みを継続し拡充していくようにと総評をいただきました。



Hotel CLEMENT TOKUSHIMA



お集まりを印象的に。

1000名収容のクレメントホールからやかな宴に最適なお部屋までバラエティ豊かな12の宴会場をご用意致しました。
ご宴会、ご結婚披露宴、展示会、式典、会議等、充実した設備で行きたいサービスで、お集まりを鮮やかに彭ります。

宴会プランの詳細・季節のイベントは、ホームページからご覧頂けます!
<http://www.hotelclement.co.jp>

ホテル クレメント徳島 0770-0831
徳島市寺島本町西1丁目61番地 Tel.(088)656-3333

徳大病院ニュース

徳島大学病院の最新情報をお届けします。

「下肢静脈瘤専門外来」を開設しました

下肢静脈は重力に逆らって心臓に血液を戻しています。下肢静脈には、逆流を防ぐために静脈弁が存在します。静脈弁が壊れることで血液が逆流し、その下の静脈が拡張する病気を下肢静脈瘤といいます。長時間の立ち仕事を行っていた方、妊娠・出産を経験された方などは発症の頻度が高くなります。症状としては、静脈の拡張、痛み、むくみ、しびれ、かゆみ、皮膚色素沈着などがあります。

血管内レーザー焼灼術(しょうしゃくじゅつ)は、2011年1月から保険適応となり、当院でも2012年4月から治療を行っています。血管内に光ファイバーを通して、内部からレーザーにて血管を焼いて閉塞させる治療です。小さかつ少ない皮膚切開で痛みや傷跡が少なく、美容面に優れ、日帰り治療が可能なメリットがあります。診療当日に手術しても当日歩いて帰宅できます。帰宅後、家事や散歩などの日常生活が可能です。

当院心臓血管外科では平成26年1月7日より「下肢静脈瘤専門外来」を開設しました。血管内レーザー焼灼術実施医が手術治療を担当し、専門的な診療を行っています。

- 外来日時:毎週火曜 13:00~15:00 (担当医:木下 肇 医員)
- ①他の予約同様のFAX予約(Fax.088-633-7483)
- ②心臓血管外科外来の電話予約(Tel.088-633-7150)

市民公開講座等のご案内

■徳島大学病院循環器内科フォーラム
【日時】平成26年4月27日(日) 13:00~16:00
【場所】徳島大学 藏本キャンパス 大塚講堂
【参加費】無料
【問い合わせ】循環器内科医局 Tel.088-633-7851

■平成26年度 呼吸の日記念市民公開講座
「あなたは喘息ですか、それともCOPDですか?」
【日時】平成26年5月25日(日) 13:30~
【場所】徳島大学 藏本キャンパス 長井記念ホール
【参加費】無料
【問い合わせ】呼吸器・膠原病内科医局 Tel.088-633-7127



臨床試験管理センターからのお知らせ 治験に参加しませんか?

問い合わせ先/臨床試験管理センター Tel. 088-633-9294

現在、治験への参加をお願いしている病気は次の通りです

- 関節リウマチ
- 2型糖尿病性腎症
- 多発性骨髓腫
- アルツハイマー型認知症
- 慢性炎症性脱髓性多発神経炎
- 多巣性運動ニューロハーネ
- 腎癌
- 前立腺癌
- 肝細胞癌
- 原発性リンパ浮腫
- 双極性障害

どうぞお気軽に
お問い合わせください。



tokudai-staff information

新任科長のごあいさつ



西良浩一(さいりょうこういち)
整形外科科長

- 1963年(昭和38年生まれ)
- 1988年(昭和63年)徳島大学医学部医学科卒業
- 1994年(平成6年)徳島大学大学院医学研究科修了
- 2013年(平成25年)教授就任

専門分野

- 脊椎・脊髄外科学、スポーツ医学

生涯良い姿勢で自分の足で歩く

皆様、生涯を通じていつまでも若々しい姿勢で、自分の足で歩きたいものですね。そのお手伝いをさせて頂くのが、整形外科です。

腰が悪いと姿勢も悪くなります。骨粗鬆症になると背中も丸くなります。頸や腰に障害が生じると神経痛になり足腰の力が弱くなり、歩けなくなります。膝や股関節の軟骨がすり減って変形すると痛みのため、満足に歩けなくなります。これら運動器の障害による要介護の状態になることをロコモティブドーム(ロコモ)と呼ばれています。

徳島大学整形外科の得意技は内視鏡手術です。小さい切開で体に優しい手術で早期社会復帰を可能とします。頸部、腰部、肩、肘、股、膝、足、これらすべての運動器疾患治療に、内視鏡を応用している施設は国内でも限られています。運動器疾患にお悩みの方、ぜひ当科を受診してください。姿勢や運動に関するすべての病気や障害に対し、我々は最先端の医療を提供し、ロコモを予防するとともに、生涯良い姿勢で自分の足で歩くためのトータル・サポート致します。

病院ボランティア大募集

主な活動内容

- 総合案内
- ・院内施設の案内・受診手続きの補助
- ・車いでの搬送介助
- 患者図書室
- ・図書の貸出、整理・病棟への移動貸出
- その他
- ・病棟での患者さんの介助等(随時)

左記の活動以外でも、「こんなボランティアしてみたい!」というご希望がありましたら、総務課までご相談ください。

■病院ボランティアに関するお問い合わせ
徳島大学病院
総務課tel.088-633-7011

09



地域連携の部屋

Vo.14

地域連携病院⑪「阿南共栄病院」

今回は、地域医療の発展に力をそそぐ阿南共栄病院を紹介します。

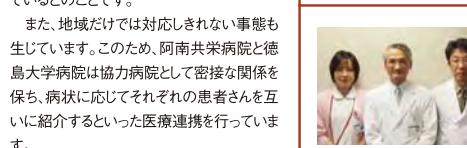
■南部の中核として地域に貢献

阿南共栄病院は安全で質の高い医療の提供により、常に地域に求められ信頼される病院を目指しています。診療面では糖尿病、消化器病の治療に力を入れると同時に、県南部の中核となる救急告知病院として、周辺地域の救急医療の責任をも担っています。また、チーム医療の発展と充実にも熱心に取り組んでいて、腎不全や循環器の疾患に対して、多職種のスタッフが連携を密にとり治療にあたっています。特に入院患者さんに最良の栄養療法を提供するNSTでは、看護師、薬剤師、栄養士の外、医師が直接加わって指導することで、患者さんの病状を正確に把握することに努めています。

さらには県南部の分娩施設が減少する中、地域の産科診療の柱として産科医療に貢献したことへの評価から「産科医療厚生労働大臣表彰」を受賞しています。こうした地域医療に携われるのも、その地域のかかりつけ医師の協力があるからだそうです。阿南共栄病院は今後も「病院-病院」「病院-診療科」問の連携の強化に力を注ぎます。

■地域に完結できる医療

周辺地域では、医師が不足している反面、高齢化による複数の疾患病を抱えた患者さんが増加しています。このため、医療の研修へスタッフを送り出したり、徳島大学の学生実習を受け入れなどして、総合的な治療ができる病院としての医師の育成に励んでいるとのことです。



また、地域だけでは対応しきれない事態も生じています。このため、阿南共栄病院と徳島大学病院は協力病院として密接な関係を保ち、病状に応じてそれぞれの患者さんを互いに紹介するといった医療連携を行っています。

最後に、東副院长は「阿南医師会中央病院と合併することにより、救急医療を含んだ365日24時間体制で広範囲の治療が可能となる。患者さんの生活する地域内で完治できる医療を目指し、周辺の病院との連携もますます深めていきたい」と今後の意気込みを語ってくれました。

「地域医療連携」について

徳島大学病院地域医療連携センターでは、大学病院と地域の医療機関との円滑な橋渡しを目指して、大学病院での高度先進医療から、患者さんがお住まいの地域の診療機関と連携し、在宅療養へと継続できるようサポートしています。



■問い合わせ

**JA徳島厚生連
阿南共栄病院**
阿南市羽ノ浦町
中庄蔵ノホケ36
Tel.0884-44-3131

**説明は、
東 博之／副病院長(真ん中)
(あさひ ひろゆき)**
**高橋 秀夫／内科部長(右)
(たかはし ひでお)**
**館 美加／師長(左)
(やかた みか)**

このコーナーでは、徳島大学病院が徳島県や他の医療機関の皆さまと協力し、患者さんへのよりよい医療の提供を目指してすめている、様々な取り組みについて取り上げます。

10

食事のヒント

テーマ 子どもが喜ぶ、卵アレルギー用除去食

食物アレルギーをもつお子様の割合は年々増えています。今回は、卵アレルギーのお子様を对象に、卵を使わずに作るオムライスそっくりのレシピをご紹介したいと思います。

そっくりオムライス(卵アレルギー用除去食)



作り方

- [そっくりうす焼きたまご]
 - 1 レンジ加熱したがまの皮を取り、ベースにして分量通りりとる。
 - 2 (1)と小麦粉を混ぜ、水を少しづつ入れ溶いていく。
 - 3 熟したフライパンにサラダ油をひき、中火にして(2)を薄くのはし両面を焼く。
 - 4 お皿にチキンライスを置き、(3)をのせて包み、皿に盛る。

[チキンライス]

- 1 玉ねぎ・ビーマンはみじん切り、鶏肉は1cm角に切る。
- 2 フライパンを熱し、サラダ油を入れて全体に刷毛ましてから鶏肉・玉ねぎ・ビーマンを炒める。火がとおったら、塩をふる。
- 3 (2)にケチャップを加え、軽く炒めて水分を飛ばす。
- 4 ご飯を加え、中火で炒めてチキンライスを完成させる。

材料(1人分)

[そっくりうす焼きたまご] かぼちゃペースト 20g / 小麦粉 20g / 水 50g / サラダ油 2g

[チキンライス] 米飯 130g / 鶏肉40g / 玉ねぎ 30g / ビーマン 10g / 塩 0.8g / ケチャップ 15g / サラダ油 4g

[飾り] スライスチーズ / のり / ブロッコリー / ケチャップ / 各適量



ちょっと一言

回答は、
栄養部
足立 知咲
(あだたちさき)
(やかた みか)

組み合わせ例

- ソラと野菜のサラダ
- しめじともやしのコンソメスープ
- 季節の果物

1人分あたりの栄養量

[合計]	556kcal	炭水化物 87.4g	●塩分 3.3g
		●蛋白質 22.2g	●食物繊維 6.6g
		●脂質 12.5g	

鶏卵は、加熱によりアレルゲン性が低下します(ゆで卵や半熟卵・生卵)。また、卵が食べられなくても他のタンパク質源(肉や魚介類、大豆製品など)をとることで、栄養面の代替は可能です。